

高校入試 英語 完全攻略

構造図解

ビジュアル読解トレーニング

Active Study

問題編



文法単元順カリキュラム

解答と解説 **Grade1**

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	①
問 3	私はピアノを弾くことができません。
問 4	トム

[解説]

- 問 1 「at」「by」「of」はこの文脈では意味が通りません。
「I'm from America.」で、「私はアメリカ出身です」の意味になります。
- 問 2 主語：I、助動詞：can、動詞：sing、副詞：well（「上手に」）
正しい語順は、① 2-4-3-1（I can sing well.）です。
文の意味は「私は上手に歌えます」です。
意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 3 「can't」は「can not」の短縮形で、「～することができない」
「play the piano」は「ピアノをひく」
→ 全体で「私はピアノをひくことができません」となります。
- 問 4 冒頭に「Hello. I am Tom.」とあるように、話し手はTomです。
その後も「I（私は）」という主語で話が続いており、I don't have a dog. の
「I」もTom本人を指しているとわかります。

■ 解答 ■

問 1	体育館
問 2	②
問 3	③
問 4	向こうにいる別の生徒

[解説]

問 1 英文に「I often play sports in this gym.」とあります。

「I often play sports」＝「私はよくスポーツをします」

「in this gym」＝「この体育館で」

→ つまり「この体育館でスポーツをすることが多い」とわかります。

問 2 主語：He、助動詞：can、動詞：play、目的語：volleyball、

副詞：well（うまく）

正しい語順は、② 4－3－5－1－2（He can play volleyball well.）です。

文の意味は「彼はバレーボールが上手にできます」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 3 「あなたの好きなスポーツ選手は（A）ですか？」という意味の文です。

→ スポーツ選手をたずねているので「～は誰ですか？」、Who を使います。

問 4 この文脈での「that」は、「向こうに見える別の生徒（another student over there）」を指しています。

視覚的に「あれ（＝その生徒）」という意味で使われています。

→ よって、「向こうにいる別の生徒」や「向こうの生徒」といった答えが適切です。

■ 解答 ■

問 1	③
問 2	彼女はよい曲を書くことができます。
問 3	①
問 4	ベンとリリーの次のコンサート

[解説]

問 1 動詞 look は、③ at と一緒に使われ、「～を見る」という意味になります。

① look on という表現は基本的に「傍観する」という意味で使われます。

② look for は「～を探す」という意味の熟語です。

④ look of this picture は文法的に誤りです。

問 2 She : 彼女は

can : ～することができる (助動詞)

write good songs : よい曲を書く

→ 全体で「彼女はよい曲を書くことができます」となります。

問 3 (主語 : Ben and Lily ベンとリリー)

副詞 : sometimes (ときどき)

動詞 : have (開く)

目的語 : a concert (コンサートを)

副詞句 (場所) : in our city (私たちの街で)

正しい語順は、① 6-3-1-2-4-5 (sometimes have a concert in our city) です。

頻度を表す副詞 sometimes は、助動詞がない文では通常 主語＋副詞＋動詞 の順で置かれます。

文の意味は「(ベンとリリーは) ときどき私たちの街でコンサートを開きます」です。意味が通じ、自然な英文になります。

問 4 「Let's go to」は「～へ行こう」という意味です。

直前に「Ben and Lily sometimes have a concert in our city.」とあることから、「their」は、Ben と Lily を指しているとわかります。

本文中では、Ben は歌手 (singer)、Lily はピアニスト (pianist) であり、「their next concert」は 2 人が開く次のコンサート であるとわかります。

■ 解答 ■

問 1	彼は料理学校に通って、そこで勉強しています。
問 2	①
問 3	②
問 4	お菓子作りの練習

[解説]

問 1 He goes to a cooking school : 彼は料理学校に通っています
and studies there : そしてそこで勉強しています
→ 全体で「彼は料理学校に通って、そこで勉強しています」となります。
「there」 は「料理学校」を指しています。

問 2 主語 : he (彼は)
副詞 : often (よく)
動詞 : cooks (料理を作る)
目的語 : Japanese food (和食を)
正しい語順は、① 4-1-3-5-2 (He often cooks Japanese food) です。
文の意味は「彼はよく和食を作ります」です。
意味が通じ、自然な英文になります。

問 3 この文脈では、兄が料理を勉強していることや、「よく和食を作る」ことから、
親子丼が ②「delicious (おいしい)」が自然です。
① strong : 強い (味には使えるが、文脈には合わない)
③ bad : 悪い (逆の意味)
④ long : 長い (料理の説明としては不適切)

問 4 直前の文に「He practices every weekend. (彼は毎週末練習しています)」と
あり、その直前には「He can't make sweets well. (彼はお菓子をうまく作れ
ません)」とあります。
→ つまり、「that」 は「お菓子作りの練習」を指しています。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	マイク、サム、ケイト
問 3	③
問 4	彼女は毎年私の誕生日にクッキーを作ってくれます。

[解説]

- 問 1 ① 「Look at ～」 は「～を見る」という意味で使われる定型表現です。
他の選択肢は文脈に合いません。
② from (～から)
③ in (～の中に)
④ of (～の)

- 問 2 文頭の「Look at these three pictures.」に続いて、写真に写っている人物として、Mike, Sam, Kate の 3 人が紹介されています。
They はオーストラリアにいる友達として、彼ら 3 人を指しています。

- 問 3 主語：he (彼は)
動詞：is (です)
補語：a good baseball player (よい野球選手)
正しい語順は、③ 6-3-5-2-1-4 (He is a good baseball player) です。
文の意味は「彼はよい野球選手です」です。
意味が通じ、自然な英文になります。

- 問 4 She：彼女は
makes cookies：クッキーを作る
for my birthday：私の誕生日のために
every year：毎年
→ 全体で「彼女は毎年私の誕生日にクッキーを作ってくれます」となります。

■ 解答 ■

問 1	③
問 2	ケンとお父さん
問 3	①
問 4	彼は自分の部屋で英語を勉強しました。

[解説]

問 1 「practiced soccer」で「サッカーを練習した」という自然な表現になります。
他の選択肢は意味が合いません。

- ① talked (話した)
- ② washed (洗った)
- ④ visited (訪れた)

→ よって、③ practiced が最も適切です。

問 2 They looked at many old clocks there. (彼らはそこでたくさんの古い時計を見ました) の there は、直前の文の a museum を指しています。
博物館を訪れたのは、「he and his father」ですので、「彼と父」が「they」にあたります。

→ よって、They = ケンとお父さんです。

問 3 主語 : they (彼らは)

動詞 : arrived (着いた)

副詞句 : home at five (5時に家に)

正しい語順は、① 4-1-2-5-3 (They arrived home at five) です。

文の意味は「彼らは5時に家に着きました」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 4 he : 彼は

studied English : 英語を勉強した

in his room : 彼の部屋で

→ 全体で「彼は自分の部屋で英語を勉強しました」となります。

■ 解答 ■

問 1	私は先週の土曜日に母と動物園に行きました。
問 2	①
問 3	③
問 4	多くの動物はジャンプができるのに、 ゾウはジャンプができないということ

[解説]

問 1 I went to the zoo : 私は動物園に行きました
 with my mother : 母と一緒に
 last Saturday : 先週の土曜日に
 → 全体で「私は先週の土曜日に母と動物園に行きました」となります。

問 2 主語 : my father (私の父は)
 動詞 : took part (参加した)
 in a volunteer activity (ボランティア活動に)
 正しい語順は、① 7-6-2-1-3-4-5 (my father took part in a volunteer activity) です。
 文の意味は「私の父はボランティア活動に参加しました」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。

問 3 「前置詞 with の後には目的格が必要なので、正しいのは ③ us です。
 ① we (主格) → 誤り
 ② our (所有格) → 誤り
 ④ ours (所有代名詞) → 誤り

問 4 「A zoo staff member told some interesting things about elephants to us.」の後に続く説明として “Many animals can jump, but elephants can’t jump.” とあります。この内容が「interesting things」の具体的な説明になっています。

■ 解答 ■

問 1	②
問 2	リサが日本に来たばかりのころ
問 3	①
問 4	富士山の頂上からの景色はすばらしかったです。

[解説]

問 1 主語：I（私は）

動詞：was（でした）

補語：an English teacher（英語の先生）

at a junior high school（中学校の）

正しい語順は、② 5-6-7-2-8-3-4-1

（I was an English teacher at a junior high school）です。

文の意味は「私は中学校の英語の先生でした」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 At first は「最初は」「初めのころは」という意味の副詞句です。

文中では「At first, my Japanese wasn't so good.」とあり、その後に「でも周りの人は親切だった」と続くため、この「At first」は Lisa が日本に来たばかりのころを指しています。

問 3 「日本語が下手だった。（A）周りの人々は親切だった」、前半と後半の内容が対立（逆の内容）になっているため、逆接の接続詞 ① but が適切です。

② because（なぜなら）→ 後半の内容が原因の説明にならない

③ and（そして）→ 「日本語が下手だった。そして、周りの人々は親切だった」と並列にするのは不自然

④ or（または）→ 文脈に合わない

問 4 The view：景色

from the top of Mt. Fuji：富士山の頂上から

was wonderful：素晴らしかった

→ 全体で「富士山の頂上からの景色はすばらしかったです」となります。

■ 解答 ■

問 1	①
問 2	②
問 3	サルたち
問 4	ゾウたちはボールで遊んでいました。

[解説]

問 1 主語：I（私は）

動詞：saw（見た）

目的語：a lot of animals（たくさんの動物）

正しい語順は、① 3-2-5-4-1（I saw a lot of animals）です。

文の意味は「私はたくさんの動物を見ました」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 2 ① on（～に）→ 日付や曜日に使う

② at + 時刻 で「～時に」という表現になります

③ in（～に）→ 月・年・時間の中の範囲に使う

④ by（～までに）→ 締切・期限を表す

問 3 直前に「It was lunchtime for monkeys.（サルたちの昼ごはんの時間でした）」とあるため、「They」が指しているのは monkeys（サルたち）です。

問 4 The elephants：ゾウたち

were playing：遊んでいました（進行形）

with a ball：ボールで／ボールを使って

→ 全体で「ゾウたちはボールで遊んでいました」となります。

「play with ～」で「～で遊ぶ／～を使って遊ぶ」という意味になります。

■ 解答 ■

問 1	ケンがふだんは 7 時に起きますが、日曜日は 9 時に起きます。
問 2	③
問 3	①
問 4	午後 5 時ごろから午後 7 時ごろまで

[解説]

問 1 Ken usually gets up at seven : ケンはふだん 7 時に起きます
 but on Sundays : しかし日曜日は
 he gets up at nine : 彼は 9 時に起きます
 → 全体で「ケンがふだんは 7 時に起きますが、日曜日は 9 時に起きます」となります。

問 2 do homework (宿題をする) が正しい組み合わせです。
 「do」は主語に応じて ③ does に変化します (主語が「he」のため)。
 ① plays (遊ぶ) → homework とは結びつかない
 ② walks (歩く) → 意味が合わない
 ④ gets (得る) → 意味が合わない

問 3 主語 : he (彼は)
 動詞 : plays (プレーする)
 目的語 : soccer (サッカーを)
 その他の語句 : with his friends in the park (彼の友だちと公園で)
 正しい語順は、① 7-3-2-6-8-1-5-4
 (He plays soccer with his friends in the park) です。
 文の意味は「彼は公園で彼の友だちとサッカーをします」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。

問 4 「He comes home at five and plays the piano before dinner. He has dinner at seven.」とあるため、before dinner は「夕食の前」、つまり午後 7 時の夕食前の時間帯を意味します。また、ピアノを弾く前に「午後 5 時に帰宅する」とあるため、午後 5 時から 7 時までの間が文脈上の自然な解釈です。

■ 解答 ■

問 1	③
問 2	②
問 3	おもしろくて害のないうそをつき、すぐに本当のことを言い、 家族や友だちと一緒に楽しむこと
問 4	イギリスの人々は午前中にうそをつきます。

[解説]

- 問 1 主語：it（それは）
動詞：is（～である）
補語：a popular event（人気のあるイベント）
around the world（世界中で）
正しい語順は、③ 6－3－5－4－7－1－2
（It is a popular event around the world）です。
文の意味は「それは世界中で人気のあるイベントです」です。
意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 2 日付と一緒に使う前置詞は ② on が正しいです（on April 1st：4月1日に）
① in：月・年・季節と使う
③ at：時刻や特定の地点と使う
④ by：期限を表す（～までに）
- 問 3 First：おもしろくて害のないうそをつく
Second：すぐに本当のことを言う
Finally：家族や友だちといっしょに楽しむ
- 問 4 people in England：イギリスの人々
tell lies：うそをつく
in the morning：午前中に
→ 全体で「イギリスの人々は午前中にうそをつきます」となります。

■ 解答 ■

問 1	私は今、ジャックの家にいます。
問 2	赤いギター
問 3	②
問 4	③

[解説]

- 問 1 I' m : I am の短縮形で「私は～です」
 at Jack' s house : 「ジャックの家に」
 now : 「今」
 → 全体で「私は今、ジャックの家にいます」となります。
- 問 2 Ken が Jack に「Whose guitar is the red one? (赤いギターはどれのですか)」と質問したのに対して、Jack が「It' s my sister' s.」と答えているので、「It」は直前に話題となっている赤いギターを指しています。
- 問 3 主語 : I (私は)
 副詞 : usually (たいてい)
 動詞 : play (演奏する)
 目的語 : it (それ＝ギター)
 時間を表す副詞句 : on Sundays (日曜日に)
 正しい語順は、② 2-6-3-1-5-4 (I usually play it on Sundays) です。
 文の意味は「私はたいてい日曜日にそれを演奏します」です。
 意味が通じ、自然な英文になります。
- 問 4 主語+be 動詞+mine の形で、「私のもの」という意味になります。
 ③ 「mine」は 所有代名詞 (my guitar の代わりに使える) です。
 ① me : 目的格 → 誤り
 ② my : 所有格 (後ろに名詞が必要) → 誤り
 ④ I : 主格 → 誤り

■ 解答 ■

問 1	③
問 2	あなたは 1 日にどのくらい英語を勉強しますか。
問 3	①
問 4	英語

[解説]

問 1 英語は教科なので「favorite subject (好きな教科)」が最も自然な表現です。

① color (色) → 英語は色ではない

② sport (スポーツ) → 英語はスポーツではない

④ song (歌) → 英語は歌の名前ではない

→ よって、③ subject が正解です。

問 2 How long : どのくらいの長さ (時間)

do you study English : あなたは英語を勉強しますか

in a day : 1 日に

→ 全体で「あなたは 1 日にどのくらい英語を勉強しますか」となります。

問 3 主語 : I (私は)

動詞 : study (勉強する)

目的語 : English (英語を)

for an hour : 1 時間

from Monday (to Friday) : 月曜日から (金曜日まで)

正しい語順は、① 2-7-1-4-6-5-3

(I study English for an hour from Monday) です。

文の意味は「私は月曜日から (金曜日まで) 1 時間英語を勉強します」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

問 4 この「it」は直前で繰り返されている「(study) English」を受けており、文脈上「英語」を指します。

■ 解答 ■

問 1	彼女は今、日本で英語を教えています。
問 2	②
問 3	8 月 10 日にカナダに着くこと、次の日に友だちとパーティーを すること、そして家族と海で泳ぐこと
問 4	①

[解説]

問 1 She teaches English：彼女は英語を教えています
in Japan：日本で
now：今

→ 全体で「彼女は今、日本で英語を教えています」となります。

問 2 during は「～の間に」という意味で、特定の期間を表すのに使います。ここでは「夏休みの期間中に」という意味なので、② during が最も自然です。

① for：「～の間（ずっと）」を意味するため、一時的な動作とは合わない

③ on：日付や曜日と一緒に使う（例：on Monday）

④ at：時刻や一点を表す場合に使う（例：at 5 p.m.）

問 3 本文には Ms. Green の予定として、次の 3 つのことが書かれています：

1. 8 月 10 日にカナダに着く
2. 次の日に友だちとパーティーをすること
3. 家族と海で泳ぐこと

問 4 主語：Her family（彼女の家族）

動詞：lives（住んでいる）

near the sea（海の近くに）

正しい語順は、① 5-1-3-4-6-2（Her family lives near the sea）です。

文の意味は「彼女の家族は海の近くに住んでいます」です。

意味が通じ、自然な英文になります。

■ 解答 ■

問 1	月曜日は一日中雨で、最低気温は 10 度、最高気温は 19 度です。
問 2	②
問 3	土曜日はおおむねくもりでしょう。
問 4	④

[解説]

問 1 It will rain all day on Monday. (月曜日は一日中雨が降るでしょう)

The low will be 10 degrees, and the high will be 19 degrees. (最低気温は 10 度、最高気温は 19 度)

→ これらを日本語でまとめて書きます。

問 2 都市名とともに使って「～で」を表す場合は ② in を使います。例：in Osaka

① at：場所の一点（建物など）を表す

③ on：日付や表面に使う

④ by：そばに、～までに、などの意味

問 3 On Saturday：土曜日に

it will be：～でしょう（未来形）

mostly cloudy：おおむねくもり

→ 全体で「土曜日はおおむねくもりでしょう」となります。

「mostly cloudy」は「一部晴れ間はあるが、ほとんどくもり」という意味です。

問 4 主語：rain（雨が）

助動詞＋動詞：will begin（始まるでしょう）

late in the evening（夕方遅くに）

正しい語順は、④ 6-1-4-7-3-2-5

(rain will begin late in the evening) です。

文の意味は「雨は夕方遅くに降り始めるでしょう」です。

意味が通じ、自然な英文になります。